

キャラクター名  
馬飼 飛鳥

プレイヤー名

シンドローム	オルクス		ワークス	高校生	カヴァー	飼育係
	パロール			年齢		
オプション			年齢	16	性別	女
覚醒	渴望	衝動	加虐		初期侵食率	32 %
出自	親の理解		経験	トラウマ	邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	1	0			1	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	3	0	3			6	戦闘移動	15
社会	3	0	0			3	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
手配師	
要人への貸し	
思い出の一品	
携帯電話	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 動物使いP		N		
トラウマ: 自分の能力P	執着	N	不安	
腐れ縁: 年老いた飼い猫、ノールP	慈愛	N	恐怖	
桐賀俊介	P	慈愛	N	劣等感
妖精(リウキン) ※タイタス済み	P	好奇心	N	憤懣
岬美咲	P	庇護	N	不安
	P		N	

最大財産P: 6    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ: パロール	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: シナリオLv回残り2/3回								
アニマルアタック	3	2	Xジャー	視界	-	対決		
効果: 攻+Lv×3、射撃、シナリオ3回								
黒の鉄槌	3	1	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻+Lv×2+2、射撃、同エンゲ不可								
因果歪曲	2	3	Xジャー	-	範(選)	-	-	
効果: 範囲(選択)、シナリオLv回								
ポケットディメンション	★							
効果: カリカリも缶詰も何でもある!								
吸着	★							
効果: 7/11、これで落ちる心配もあるまい!								
不可視の領域	3							
効果: ここから動いちゃダメだよ?								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

厨二モード 「はーはっはっは！我を畏れよ！我を崇めよ！我が名は大いなる闇の獣を従える主（ダークネスビーストマスター）！！大いなる闇の獣を従え、この世全てを混沌へと陥れる恐怖の魔王である！！」

素 「にゃー？どうしたんですかにゃー？お腹空いたんですかにゃー？」

割合幼少の頃に力に目覚めたこともあり、同年代の子よりも動物と過ごす時間の方が多く、その結果として極度の人見知り+口下手になってしまった。そのままでは生活もままならないため、何とかしようと彼女は必死に考え、結果的に、厨二病へと思考のバブルで辿り着いた。

とはいうものの、実際は厨二に心から染まっているわけではなく、あくまで対人用の殻として他を寄せ付けないための選択に過ぎない。つまりは、ファッション厨二病。本気で闇の獣云々思っているわけではない。瞳もカラコンを入れているだけであり、素は黒い瞳である。

また、彼女は幼い頃から力のおかげで動物達に好かれる人生を歩んできたが、そのことを知った彼女は、自分を好いてくれている動物達の愛情がどこまで力によるもので、どこまで本当なのか分からなくなり、しばらくの間何もかも信じられなくなっていった。現在は、力を持つ前から飼っていた老猫のおかげで何とか持ち直し、動物達とも触れ合えるようになったが、その期間の間に己の内に潜む衝動とも対面し、自分が動物達とかわり続けることは本当に正しいのだろうか、常に心の内側で葛藤している。普段はそれを必死に見ないでいるが、その蓋が開くと恐慌状態に陥ってしまう。

能力としては動物での牽制から、重力を叩きつける戦法を得意としており、動物に頼らざるを得ないことで、自分の能力に対する悩みを一層深めている。なので、妖精の手による支援は動物を巻きこまないためにかなり気に入っている。

なお、最近は飼育部で自分以上に何かすげえ動物愛のあれにちくせうな日々、割と平和。